## がんばろう 南三陸町

復興第29号



発 行 所

千葉総合印刷株式会社

本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84 TEL(46) 3069 FAX(46)3068

志津川広報センター 企画・編集 千葉伸孝

## 志津川地区町づくり協議会高台移転部会参加報告

26年1月6日(高台移転部会)6名参加委任状6人

● 報告では、高台移転団地の登録・個別相談会に ついて

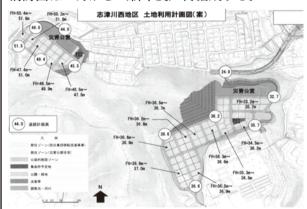
1月17日から2月末まで「団地登録申請書提 出・受付け」、必要に応じた希望団地を調整する。 春頃には団地決定通知(=登録)を予定する。

協議では①移転方法のシュミレーション②移転 方法について

● 移転方法の希望者質問の問①は希望エリア 問 ②で同一ブロックへのグループ申し込みの2題に ついて話し合った。

移転場所の個人の決定は質問を簡素化した。相 談担当者には地元の女性を、何でも要望が聞きや すい状況をつくってほしい。今までの抽選の反省 として、透明性・公平性を重視してとの話しがで た。西地区には戸建ての災害公営はなく、保呂 毛・田尻畑の防集の中止により西地区に加わり、 17世帯だったものが12世帯にと報告された。

行政区に関しては、方向性は町に示してもらう。 消防団は4月から(新年度)再編成する。



26年2月13日(高台移転部会)7名

● 報告では、町から①復興整備航空写真について ②志津川市街地復興まちづくり模型制作プロジェ クトについて、高校生から高台のコミュニティブ くりについて希望・発表があった。

この日は志津川高校との連携で美術部との「町 づくり模型制作」が進められている事の報告が あった。また高校生の「コレクティブハウス」の 体験報告があった。自分たちが今後暮らす町を考 え、高台移転の集会所(コモン)の在り方を考え た。多様化する家族の形態に対応する集会所を模 索し、公共のスペースとしてキッチン・図書館な どを設置し、住民の皆さんが協力しながら運営し ていく。地区が一つの中に整っている。高齢者・ 一人暮らしの人が多くなり、防犯の面での施設の 利用があるなど高校生の考えを発表した。

● 協議では、高台移転方法の方向性・ルール作り について話し合った。

「宅地決定方法(優先対象者)」については、 地主・介護の必要性・グループでの移転などが優 先になっているが、グループでの高台の地区が決 定した場合、場所の希望については全ての第一希 望からで、次にまわされる。「宅地決定方法(優 先対象外)」は抽選のやり方があり、希望が重 なった場合抽選が公平であるが、デメリットもあ る。意見として「住民の目の前でやる」「抽選が あたりキャンセルする場合はペナルティを」など、 住民が納得できる高台の土地決定を議論した。

26年3月6日(高台移転・産業再生合同部会) 高台5人産業6人参加

はじめに、高台での店舗付住宅の希望があり その報告で東地区14件(未3)、中央区18件(未 3) 、西地区5件(未1)の、高台移転の現在の数字 が示された。県からの確認で、建設の中身を満た せば、「クループ事業」の活用は問題ない。また 高台造成の完了時期と住宅建設事情があり、グ ループ事業への参加を断念するとの話しも聴く。

協議では、①店舗ゾーン ②業種の制限 ③買 い物弱者への対応 ④業種・個人別事情の配慮に ついて、合同で議論が交わされた。

高台に店舗ゾーンを決めなくても・集約した商 店は必要・生活を支える商店は点在した方が・高 齢者が買い物をする利便性などが、上げられた。

産業再生部会は低地部の商店形成が基本であり、 高台での出店は経営は厳しいなどがあり、対策と して「巡回バス」や、販売車で買い物弱者に対応 できる。また、店舗付住宅建設予定者が、理美 容・菓子店・衣料店・飲食店などが、東・中央区 に出店を希望している。

UR都市機構の報告では、3地区の戸建・災害公 営の被災者希望の中間報告があり、戸建では435 戸から360戸と「75戸」の減少があり、災害公 営でも560戸が500戸台と減っている事が話され

町内・町外に置いても現在、自己再建が加速し ている。高台造成を待てないとの話しも各地区で 聞こえ、農地から宅地への転用が進む。

(高台移転の部会参加情報は、1月から3月で状 況・数字は日々変化しています。ご了承くださ (I)。)

# 新生志津川中学校誕生!



4月8日第68回志津 川中学校入学式が、戸 倉中学校との統合とな り「新生志中」として 誕生スタートした。

新入生の氏名点呼で の胸のドキドキが、P TAの父母までも伝 わって来るような、志 津川中学校と戸倉中学

校との統合合併による新鮮さが感じられた。

1 組26名・2 組27名・3 組26名、総計79名の1年生が加わり新年度を迎える。 佐藤校長の式辞では「皆さんが輝いて見えるのは希望に向かっているか らだ」と新志中生のりっぱな態度をほめた。学校生活の目標として、一つ に『命』と言い、「自分の命・他人の命を大切に生き抜いて下さい。」と 話した。二つ目に「大きい声であいさつをしましょう」三つ目に夢を持つ 事を上げた。夢を実現させなければならない。コツコツと取り組んでくだ さい。「絶対にやるという人は成功する」と語り、四つ目は「学力を高め る事」。ゲームや携帯に費やすだけでなく夢の実現に向かい学力を付ける など、「志中の生徒である事を自覚して」と新入生に述べた。

祝辞では佐々木父母教師会会長が、心・体・頭脳が成長する時期です。 一人一人が輝き、生き生きと活動してくれる事が願いです。



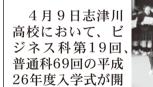
「歓迎の言葉」では、高橋生徒会長が、「学年を越 えて絆を深め自分自身を1回りも2回りも大きくし て欲しい」「両校の良き伝統を築いてください」と 期待と不安を抱く新入生に語った。

「誓いの言葉」では新入生を代表して後藤君が 「たくさんの希望に胸がワクワクしている」。志中 にはたくさんの部活がある。小学校にはない中間テ スト・期末テストがある。戸倉・志津川・入谷の友

達をたくさんつくる。また、忘れてはいけない事として、「たくさんの人 たちの支えがあったからこそ」と結んだ。

震災から4年目を迎え、小学校から中学校への階段を登り始める生徒た ち、戸中生は統合の流れの中で、在校生は新たな生徒を迎え、勉学・ス ポーツ・友達作りに励み、希望そして夢の実現に向け頑張ってほしい。

## 「志高魂」



催された。



ビジネス科23名、普通科66名の総計89名が、南三陸町内の志津川、歌 津、戸倉の中学校を中心に、気仙沼市・登米市など町外からも数名の入学 があった。大地震で鉄道、バス路線の崩壊や、生活の厳しい状況の中で郷 土の志高への入学を希望する生徒、家族のご決断により、創立90年を迎え る志津川高校の伝統が今年度もうけ継がれる。

「入学許可」で新入生の名前が呼ばれ、佐藤校長が「89名の入学を許可 する」と壇上から述べた。



「学校長式辞」で佐藤校長は、困難な時代を乗り 越えて来た新入生89名を「心から歓迎します」と話 した。自分の意志で学校で学ぶために入学した「こ の日の誓いを忘れず自らを奮い立たせて下さい」と 語り、「学習した事は解るまで努力して欲しい」 「学びの幅を広げて」と付け加えた。新入生へ送っ た言葉に「師匠は針りのごとし弟子は糸のごとし」 で、先生と生徒の関係を教えてくれた。学校におい

て先生方の指導は物事がうまくいくように道筋を示してくれると、学校生 活の心得として語った。

祝辞は遠藤副町長が「前を向いて上を向いて歩いて下さい。道がなけれ ば切り開いて進んでほしい。」と町長の代読をした。「入学生代表宣誓」 では須藤さんが、新たな舞台での生活に、力強い宣誓を佐藤校長に向い述

最後の「校歌紹介」では、運動部、文化部の在校生100名余りが、音楽 部の演奏で「東の空に雲晴れて」のフレ―ズを合唱する。入学生も先輩た ちと共に、今後幾度となく校歌を歌う。「栄光あれや、栄光あれや」の言 葉どうり、志津川高校に、在校生に、輝かしい栄光が導かれる事を願いたい。

# 地域定着型多機能ホテム 陸町亿誕生

先月南三陸町で小規模多機能ホーム南三陸の内 覧会があった。町からの指定を、当初は戸倉小学 校裏に建設予定だったが、今回の大震災で場所を 失った。そして、商工団地入口の交差点の角にあ る、気仙沼信用金庫の裏に26年度内に開設され

施設内容は「ショートステイ」「訪問介護」 「デイサービス」の3つの介護支援事業を展開す る。施設整備のこまい所まで、高齢者の体の不自 由を考えた施設整備となっている。ショートステ イの洋室は個室で、通常の施設より広いと言う。 洗面台は上下し、トイレは左右の不自由な方の為 に、右側左側使用の手すりやペーパーが設置され ていた。和室は、2部屋で低い段差にも、収納付 きの引き出しの階段を設置していた。

施設の定員は、登録25人・通い15人・泊り9 人となっている。個室の洋室9つには収納机の一 番下には、非常時の備品が備え付けられていた。 非常用の貯蓄備品・食糧・水などが、今回の震災 で「常備品」として家庭が普通に備える状況とな り、今後色々な災害発生で必要性を町民も肌で感 じた。設置で非常品を販売する会社と提携してい る。災害時の避難所としての活用も考えられる。

小規模多機能ホーム南三陸では、地域定着型と して24時間体制で通い・泊宿者と顔なじみとな り、一人一人に応じた介護ができる。

高齢化が進み家族の介護支援、独居生活の方々 の支援など今後充実を目指してほしい。

### 一人で、家族だけで悩まないで 相談して下さい。

## 石巻地域若者サポートステーションへ!

先月会社に「若者の就労・自立をサポートする 事業をしています」と男性が来社した。

2012.3.11から4年目を迎え、被災者そして事 業所の復興はまだまだ先のように感じる。そんな 環境で若者のみならず就労の場の確保は厳しい中 にある。

15歳から35歳を対象とした自律支援サポート 「面接をしても落ちる」「人と話す事が不 「何をどうすればいいか解らない」「失敗ば かりで挑戦する自信がない」など、多くの悩みを 抱え、被災し生活をしている。

支援は、①相談・カウンセリング ②コミュニ ケーション・ビジネスの能力習得 ③職場見学・ 体験など、学校と連携して、在校生・卒業生・中 退者の自立を応援支援する。

一人・家族で悩んでいないで、是非連絡下さいと 話している。相談は無料だが予約が必要です。

石巻地域若者サポートセンターは、 石巻市西山町6の39(カムロ第2ビル2階)

電話 0225-90-3671 開所は月曜から金曜で10時から18時までとなっ ている。

# 来への教訓

平成26年(2014年) ~ 地元報道より ~

4月の出来事

◎ 気仙沼市・南三陸町、国から「過疎地 域」指定

\*20日南三陸町入谷桜沢の一戸建て9戸の棟上 げ式。3階建集合住宅(42戸)と共に夏に完成 予定。

\*日本國誠流詩吟会、本吉町大谷「海洋館」で資格

取得会。宮城支部の師範の田生國豊(前南三陸町 教育長)を偲ぶ吟声朗々と。

\*5月から「キラキラうに丼」南三陸町商店街で 販売、スタート。

### ◎「三陸道」南三陸海岸ⅠC(仮称)は 28年度開通見込み、復興加速に弾み!

\*気仙沼、三陸沿岸の地種ホヤ、3年目を迎え本 格収穫に。

\*復興特需で求人増加、若い世代の「復興に貢献 したい」順調な高卒者地元志向強く。

\*「春の叙勲」瑞宝単光章に消防功労で佐藤安正 氏70才(戸倉藤浜)旭日双光章に本田剛彦氏71 才(本田外科医院院長)町内の健康を支え続けた。

## **■■ガミカ※※**を歌で南三陸町の皆さんに楽しい時間を 神戸市「SELFISH」南三陸町応援団

国道45号の大久保 「さかなのみうら」 さん前で、テントが 張られコンサートが

開催されていた。野外でのバフォーマンスや歌で 会場からは、笑いと笑顔が溢れていた。

この団体は神戸市灘区の「SELFISH」で、「南 三陸町応援団」として、2012年・2013年の5月に 町内の仮設を廻り、ライブと炊き出しツアーで、 南三陸町支援をしていた。そして3回目の今年も 応援に来てくれた。13日は「戸中仮設」「歌津平 成の森」で開き、14日に志津川に入りさかなのみ うらさん前で野外ライブとなった。大久保地区の 皆さんも、早くから駐車場前に集まっていた。

SELUFJSHの皆さんは、地元神戸市で「南三 陸町応援団の活動資金にご協力をお願いしま す!」と、フリーマーケットや出品協力、そして 共に活動してくれる仲間と一緒に、「ライブと炊 き出しツアー」に参加してもらい、南三陸町を中 心に支援・応援をしている。

一緒に来てくれたミュージシャンの石黒明里さ んが、「聞いていって下さい」と声を掛けてくれ た。そして活動の事を丁寧に教えてくれた。

多くの被災地応援の皆さんの活動を 町民の方々も一緒に参加し楽しみま しょう。

# 第11回 呂城宗ノーノ 第1-1 回宮城県テコンドー選手権大会

4月27日(日)

仙台市茂庭台市民センター体育館

南三陸町テコンドー協会は沿岸 部唯一の練習所で今大会にも代表 選手6名が出場キョルギ(組手) プムセ(型)の部で大活躍、南三 陸町の名声を高めてまいりました。 特にキョルギの試合は2分間2

Rで1試合4分闘うきびしい試合 でしたが、高度な技を幾度となく繰り出し大健闘致し今後の活躍に大きな 期待が持てました。結果は下記のとおりです。

キョルギ(組手)女子小学3・4年 準優勝 近藤 恋(伊里前小3年)

女子小学5・6年 準優勝 阿部 若菜(志津川小6年) 女子小学5・6年 第3位 近藤 月(伊里前小6年)

中学高校一般混合 準優勝 阿部裕貴人(歌津中3年) プムセ(型)

「あなたゆえ」「はなさない」「愛の背 中」など、自分が選曲した歌を10分間で一 気に歌いあげた。次に竹久夢二生誕120周 年記念、松竹映画「およう」の主題歌「離 さないで」(よいまち草バージョン)を熱唱 した。映画には女優としても出演している。 鮮やかな紫色のドレスに身を包み、「クラ ブで歌っているよう」と会場の雰囲気を言 い、シャンソン歌謡曲的な歌声に観客は釘

づけとなった。

4曲目を歌い終え時、「NHKのコンサートに立っているようで緊張して、 歌詞間違えちゃった。」と、会場の笑いを誘っていた。

ホテル観洋『真奈尚子コンサート』

– 南三陸町コール潮騒と交流

18日の真奈尚子コンサートはホテル観洋の「クラ

ブ竜宮」で開催され、シャンソン・タンゴ・歌謡曲

の融合した、しっとりとした癒しの溢れる歌に、集

まった80名余りの観客が引き込まれていった。



### [ 戸倉中仮設応援コンサート]

「あざみの歌」で一曲目から、戸倉仮設の 60名余りの観客を魅了した。歌と会話の 「真奈尚子南三陸応援コンサート」を、「老 人介護施設ハイムメアーズ」に引き続き「戸 倉中仮設」で開催し、来場の皆さんは「真奈

尚子」の優しさに触れた。

彼女の環境と苦悩が被災地の皆さんとよく似ている。お寺の娘のとして 生まれ、姉妹は女3人で、二人の姉を亡くし、17年前に母も亡くした。仮

設で集まってくれた母親と同じ年代の 女性に、「大変でしたね」「辛かった でしょう」と、互いの苦境に似たもの があり、その気持ちを理解していた。 真奈さんのお母さんの好きだった「こ こに幸あり」を、仮設の皆さんと共に 最後に歌い、互いに涙が溢れた会場は 温かさに包まれた。



## 商工団地に移転いたしました

志津川市街地 2000 戸の地域の皆さんと被災し、戸倉 荒町に地区の皆様、場所を提供していただいた方々のお 力添えにより、工場•事務所を開設し仮営業を 23 年7月より始めました。 今年5月1日より下記住所に移転し営業を開始いたしました。

今後ともご愛顧をお願いし、皆様の早期の復興をご祈念しご挨拶と致

します。 P C 経験者 HP 作成できる社員募集 (電話で受付面談の上で採用)



住所 志津川字沼田 150 - 84 TEL 0226 - 46 - 3069 FAX 0226-46-3068

南三陸マイタウン情報発行支援

代表取締役社長 千葉 賢二郎 専務 千葉伸 孝